

関 特 だ よ り

令和8年
6月24日
発行

学び | 地域 | 安全・安心 | チーム関特支

学校では、日々さまざまな人との関わりや体験、そして地域とのつながりを通して、子どもたちの学びが大きく広がっています。また、学校運営協議会や地域の皆様の支えが安心して学べる場につながっています。

小学部 「下有知小学校との交流」

下有知小学校4年生50名の子どもたちを迎え、互いに自己紹介をした後、小学部の児童が校内を案内したり、体育館でボウリングや絵本を一緒に楽しんだりしました。初めはちょっぴり緊張しながらも名前を呼び掛けられると目を合わせてにっこり。相手を思いやる気持ちや、それに応えようとする頼もしい様子がたくさん見られました。

かぼちゃ



中学部 「藍川中学校との交流」

10月実施予定です。相手に興味をもって、自分から関わろうとする姿を期待しています。

高等部 「藍染め体験三校交流」



藍の葉

関商工高・中濃特別支援学校と三校で交流し、タデアイの種植えを行いました。初めは緊張していた生徒たちも、活動が進むにつれて笑顔に。

「しっかり育つよう思いを込めて植えたよ」「芽が出るのが楽しみ」という声が聞かれました。後半は、各グループで自然に会話がはずみ、温かな交流の時間となりました。秋には成長したアイの葉を使用した藍染の作品作りを三校合同で行います。

学校運営協議会 「地域とともに進める学校づくり」

年3回行っている学校運営協議会では地域や保護者の代表の皆様とともに、学校の取組について意見交流を行っています。「子どもたちが、卒業後も地域で安心して暮らせるように、地域と学校が交流を深め、それを発信していくことが大切である」「少人数のよさを生かし、一人一人に応じた丁寧な支援を大切にしたい」等の考えが共有されました。皆さんの期待を励みに地域とともに学校づくりを進めていきます。

美の路会「清掃活動」

40年以上の長きに渡ってボランティア活動してくださっている、美の路会。美濃地区の郵便局長夫人の会39名の皆さんが、普段なかなか手の行き届かない窓や手すりなどを清掃してくださいました。子どもたちが気持ちよく過ごせる環境づくりを地域の皆様に支えていただいています。

中庭では、児童生徒が植えた野菜や三校交流でもらった藍等がすくすくと育っています。日々大きくなっていく様子を、一緒に観察しながら命の大切さや自然のことを楽しく学んでいます。